

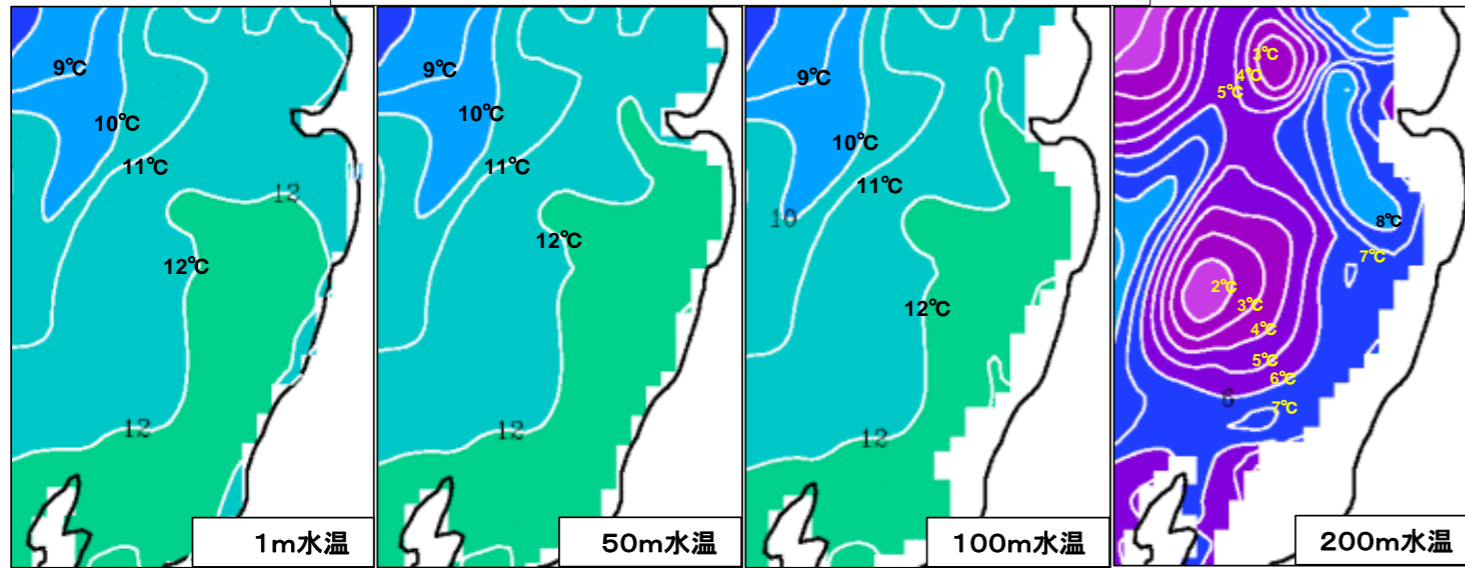
漁海況情報

第595号 (令和4年1月14日)

発行: 山形県水産研究所 〒997-1204 鶴岡市加茂字大崩594
 TEL0235(33)3150 FAX0235(33)0379
 ホームページ: <http://www.pref.yamagata.jp/ou/norinsuisan/147010/>

- 12月の地先水温は鶴岡市加茂(水産研究所)、鶴岡市三瀬(栽培漁業センター)ともに「**平年並み**」でした。
- 拡張版日本海海況予測システムJADE2によると、表層から100m層の水温は平年と同程度で、水深による水温の変化はほとんど見られません。また、200m層は沖合に北からの冷水塊の差し込みが見られます。
- 1月上旬のたら場水温観測の結果は、水深200mは平均6.6℃(平年差-1.3℃)で「**やや低い**」、水深250mおよび300mはそれぞれ平均3.1℃(平年差-0.3℃)、1.7℃(平年差+0.0℃)で「**平年並み**」となっています。
- 12月末までの本県へのサケの来遊尾数は、94,201尾で、前年比43%でした。

1月7日の山形県沖水温再現図
 (国立研究開発法人水産研究・教育機構
 拡張版日本海海況予測システム JADE2 より引用して編集)
 (<http://jade2.dc.affrc.go.jp/jade2/>)



地先平均水温(12月)

単位:℃

場所	水温	前年差	平年差	評価
水産研究所(鶴岡市加茂港内)	12.5	+0.9	+0.5	平年並み
栽培漁業センター(鶴岡市三瀬地先)	13.9	+0.2	+0.3	平年並み

評価の表現: “平年並み”は約2年に1回、“やや”は約4年に1回、“かなり”は約10年に1回、“はなはだ”は約20年以上に1回の出現確率を表しています。

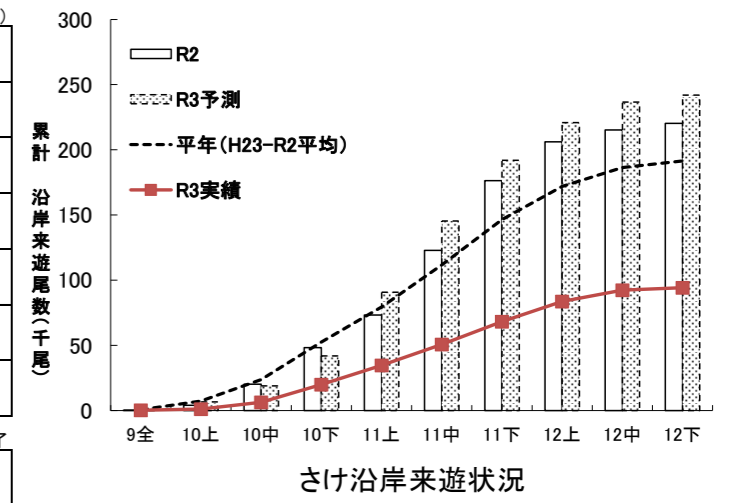
山形県さけ沿岸来遊状況

(令和3年12月31日現在)

区分	沿岸漁獲尾数	河川捕獲尾数	沿岸来遊尾数
平成29年度	71,022尾	73,265尾	144,287尾
平成30年度	66,185尾	79,598尾	145,783尾
令和元年度	45,208尾	86,426尾	131,634尾
令和2年度	79,779尾	140,450尾	220,229尾
令和3年度	25,021尾	69,180尾	94,201尾
令和2年度比	31%	49%	43%

備考: 沿岸漁業 12月31日終了

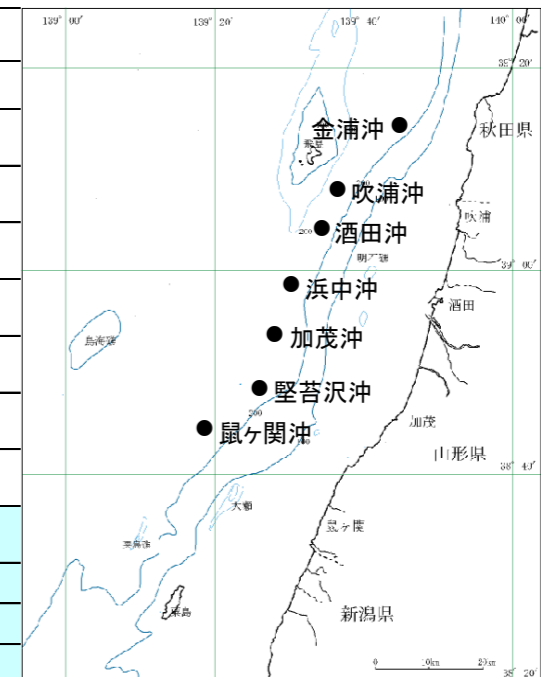
令和2年度最終実績	79,779尾	141,080尾	220,859尾
-----------	---------	----------	----------



たら場水温観測結果 (2022年1月6日 最上丸 観測)

※平年: 2011~2021年の平均

漁場	緯度	経度	ロラン3局	水深ヒ口	水温(平年差)(℃)		
					200m	250m	300m
鼠ヶ関沖	38° 42. 6'	139° 16. 5'	3064	237	7. 8(+0. 6)	2. 9(-0. 2)	1. 6(-0. 0)
堅苔沢沖	38° 48. 1'	139° 25. 0'	2978	214	6. 7(-1. 3)	3. 5(-0. 1)	1. 9(+0. 4)
加茂沖	38° 54. 6'	139° 28. 1'	2893	292	4. 7(-2. 2)	2. 6(-0. 7)	1. 7(-0. 1)
浜中沖	39° 00. 3'	139° 31. 0'	2818	266	6. 3(-1. 2)	2. 6(-0. 6)	1. 6(-0. 1)
酒田沖	39° 03. 7'	139° 34. 3'	2769	216	6. 5(-1. 3)	3. 7(+0. 3)	1. 8(+0. 2)
吹浦沖	39° 10. 5'	139° 37. 3'	2682	214	7. 6(-1. 2)	3. 3(-0. 4)	1. 8(+0. 1)
金浦沖	39° 13. 9'	139° 43. 8'	2625	213	6. 4(-2. 3)	3. 2(-0. 4)	1. 6(-0. 3)
平均					6. 6	3. 1	1. 7
前年(2021年)との差					-3. 4	-0. 2	-0. 1
平年(2011~2021年)との差					-1. 3	-0. 3	+0. 0
評価					やや低い	平年並み	平年並み



評価の表現: “平年並み”は約2年に1回、“やや”は約4年に1回、“かなり”は約10年に1回、“はなはだ”は約20年以上に1回の出現確率を表しています。

12月の漁況

- 延べ操業隻数は720隻で前年比77%、総漁獲量は154トンで前年比27%と前年を下回りました。スルメイカ漁獲量が前年を大きく下回ったこと、時化などにより操業隻数が少なかったことが大きな要因と考えられます。
- 底びき網漁業の漁獲量は68トンで前年を下回りました。ズワイガニは前年を上回り、ヒラメ、カレイ類、ハタハタ、ホッケ、アンコウ、マダラ、紅エビ(ホッコクアカエビ)およびタコ類は前年を下回りました。
- 定置網漁業の漁獲量は19トンで前年を下回りました。アジは前年を上回り、ヒラメ、サケ、ブリ類およびサバは前年を下回りました。
- その他の漁業では、はえなわ漁業のサワラおよび一本釣漁業のブリ類は前年を上回り、いか一本釣り漁業および船凍いか釣り漁業のスルメイカ、はえなわ漁業のフグ類および採貝藻漁業のアワビ、イワノリは前年を下回りました。

- * 前年比は平成28～令和2年までの平均値と比較した値です。
- * 前年比85%～115%は「前年並み」、前年比84%以下は「前年を下回る」、前年比116%以上は「前年を上回る」としました。
- * 小数点以下を四捨五入して表示しているため、合計が合わない場合があります。

全漁業支所別漁獲量

単位: 隻、kg

支所	吹浦	飛鳥	酒田	加茂	由良	豊浦	温海	念珠関	計	前年比	前年比
延べ操業隻数	66	62	134	35	115	63	35	210	720	93%	77%
総漁獲量	6,354	6,620	57,009	16,309	25,354	9,193	845	32,749	154,431	44%	27%
前年比	42%	494%	35%	49%	59%	18%	127%	77%	44%		
前年比	40%	87%	15%	59%	53%	34%	97%	57%	27%		

底びき網漁業

単位: 隻、kg

支所	吹浦	酒田	由良	豊浦	念珠関	計	前年比	前年比
延べ操業隻数	14	29	42	16	72	173	76%	70%
タイ類	60	7,543	4,309	572	10,858	23,343	100%	92%
ヒラメ	73	48	123	129	330	702	140%	71%
カレイ類	338	306	899	1,254	1,850	4,647	112%	72%
ハタハタ	980	4,628	88	59	20	5,774	26%	16%
ホッケ	160	1,025	33	38	241	1,496	87%	54%
アンコウ	148	45	532	564	700	1,990	119%	63%
ズワイガニ	275	375	1,758	485	1,441	4,334	263%	140%
マダラ	542	3,484	642	145	1,233	6,046	53%	40%
紅エビ(ホッコクアカエビ)	125	462	619	102	3,719	5,026	43%	41%
タコ類	121	44	39	70	429	702	54%	53%
その他	744	1,785	3,020	1,005	7,617	14,171		
計	3,565	19,744	12,061	4,423	28,437	68,230	70%	53%
前年比	38%	53%	122%	115%	77%	70%		
前年比	35%	51%	55%	79%	53%	53%		

定置網漁業

単位: 隻、kg

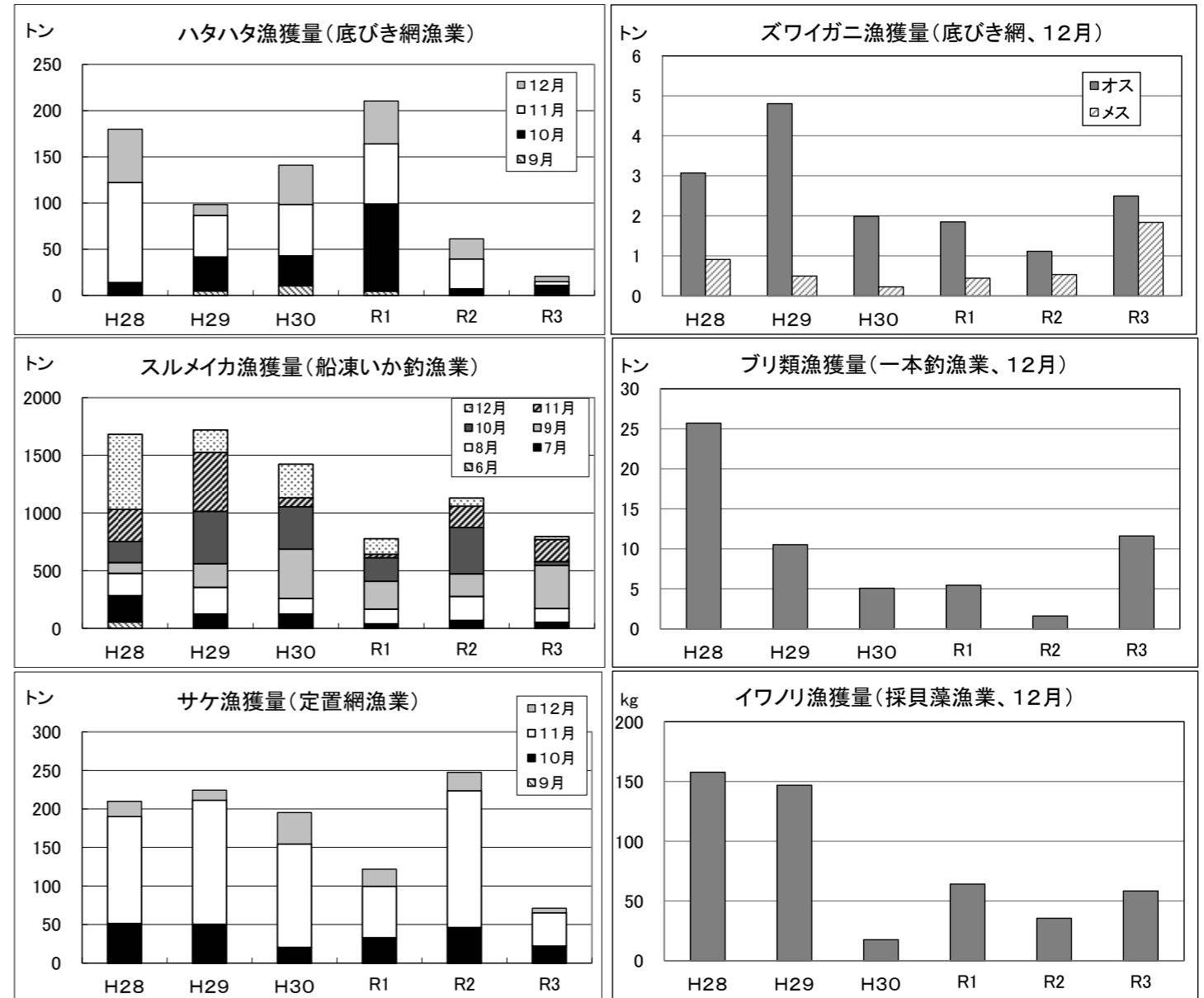
支所	加茂	由良	豊浦	念珠関	計	前年比	前年比
延べ操業隻数	1	22	11	2	36	97%	86%
ヒラメ	2	369	113	4	488	129%	68%
サケ	71	3,873	1,772	372	6,088	26%	25%
ブリ類	28	1,208	666		1,902	4%	11%
アジ	538	5,302	916	28	6,783	287%	260%
サバ	4	16	5		25	6%	2%
その他	30	2,954	548	8	3,540		
計	672	13,722	4,020	411	18,826	24%	36%
前年比	47%	53%	8%	24%	24%		
前年比	12%	59%	19%	50%	36%		

その他の漁業

単位: 隻、kg

漁業種類	いか一本釣り漁業	船凍いか釣り漁業	はえなわ漁業		一本釣り漁業	採貝藻漁業		
延べ操業隻数	30	3	118		73	151		
総漁獲量			4,496		11,900	2,256		
前年比			91%		386%	95%		
前年比			60%		109%	76%		
主な魚種	スルメイカ	スルメイカ	サワラ	フグ類(※)	ブリ類	アワビ	サザエ	イワノリ
漁獲量	4,163	25,168	3,630	195	11,596	223	1,959	58
前年比	8%	36%	99%	63%	721%	85%	101%	164%
前年比	5%	9%	198%	23%	120%	33%	98%	69%

※トラフグを含む



最上丸の予定(1月下旬～2月上旬)

- ・ たら場(タラ)の水温観測を行います。
- ・ 海洋観測を行います。
- ・ はえ縄によるトラフグ分布調査を行います。

みなさま、調査への御協力。御理解よろしくお願ひします。

